

島根県の被害地震

発生年月日	北緯	東経	規模 (M)	震央地名 (地震名)	被害状況
880.11.23 元慶4.10.14	35.4°	133.2°	7 程度	出雲	神社、仏閣、家屋転倒す。
1026.6.16 万寿3.5.23	不明	不明	不明	石見	現益田市高津川河口沖にあった鴨島が大波(あるいは大海嘯)によって崩され、海中に没したという。波は川沿いに16km上流に達したという。被害は50km以上東の黒松(現江津市黒松町)にまで及んだ。
1676.7.12 延宝4.6.2	34.5°	131.8°	6.5 程度	石見	津和野城石垣など崩れ、侍屋敷の石垣・塀破損。本丸櫓2カ所・出丸櫓2カ所崩れ、天守は別条なし。石垣崩れ17カ所、同孕72カ所。町方家蔵大分損、家屋倒潰133、うち16は土蔵、死7、傷35、田畑50町ほど潰込みあるいは水除崩る。
1748.6.18 寛延1.5.23	不明	不明	不明	松江 (雲州地震)	松江鵜部屋橋石壁崩れ橋落つという。「出雲私史抜萃」による。
1778.2.14 安永7.1.18	34.6°	132.0°	6.5 程度	石見	那賀郡波佐村(現浜田市)で石垣崩る。都茂村(現益田市)で落石、三隅川沿いで山崩れ・家潰れなどありしとのこと。
1823.1.14 文政5.12.3	不明	不明	不明	石見	美濃郡・那賀郡が激しく、美濃村(現益田市)で潰家10戸。
1835.3.12 天保6.2.14	35.1°	132.6°	5 ¹ / ₂ 程度	石見	島根県高畑村(現美郷町)で石地蔵・石塔・墓石など倒れ、蔵の壁破る。
1854.12.24 嘉永7 安政1 .11.5	33.0°	135.0°	8.4	和歌山県南方沖 (安政南海地震)	出雲杵築大社(現出雲市)で潰150棟。
1859.1.5 安政5.12.2	34.8°	131.9°	6.2± 0.2	石見	島根県一帯、とくに那賀郡・美濃郡が強く、波佐村(現浜田市)で山崩れがあり、周布村(現浜田市)では潰家数戸。下道川村(現益田市)で家・土蔵小損4。美濃村(現益田市)で潰家10。高城村(現益田市)で石垣、吉賀川の堤防崩る。被害総計、家潰56、蔵損14、寺社倒2、山崩れ10、田畑損31町余、ほか道・橋・堤損多し。
1859.10.4 安政6.9.9	34.5°	132.0°	6.0~ 6.5	石見	島根県那賀郡で強く、周布村(現浜田市)でも数戸倒潰し、地割れあり、匹見町では田地・往還・橋などの損がところどころにあり、居宅大損4があった。

発生年月日	北緯	東経	規模 (M)	震央地名 (地震名)	被害状況
1872.3.14 明治5.2.6	35.15°	132.1°	7.1±0.2	島根県西部沿岸 (浜田地震)	約1週間くらい前から鳴動、当日午前11時頃微震。ついで本震の約1時間前にかんりの地震。また8~10分前に微震あり。 島根県では、死者551、負傷者582、全潰4,506、半壊6,072、焼失230、山崩れ6,567。道・橋・堤防にも被害があった。 海岸で海水の変動あり。
1904.6.6 明治37年	35.3°	133.2°	5.8	島根県東部	同日の3時40分に経度、緯度を同じくするM=5.4の地震があった。前の地震で能義郡大塚村(現安来市)で家屋の壁破損1、同郡母里村(現安来市)で堤防の亀裂2。本震で能義郡宇賀荘村(現安来市)で堤防の亀裂、大塚村・母里村で瓦の墜落などの被害があった。
1914.5.23 大正3年	35.35°	133.2°	5.8	島根県東部	島根県能義郡・八束郡・大原郡で壁の亀裂、土地の崩壊・亀裂などがあり、玉造温泉は湧出量が3倍となり昇温した。【気象集誌】
1941.4.6 昭和16年	34°31.6'	131°38.0'	6.2	山口県北部	山口・島根県境付近に小被害。須佐・江崎(山口県)およびその付近で土崩崩壊・墓石転倒・崖崩れ・道路の亀裂などがあり、益田・石見津田駅間で線路約10cm沈下し貨車が転覆した。
1943.9.10 昭和18年	35°28.3'	134°11.0'	7.2	鳥取県東部 (鳥取地震)	壁に亀裂が生じ、屋根瓦数枚落ちた。煙突折れ、南方へ面した石碑南方へ倒れた(20基) 【鳥取地震概報 中央气象台】
1946.12.21 昭和21年	32°56.1'	135°50.9'	8.0	和歌山県南方沖 (南海地震)	島根県では、死者9、負傷者16、住家全壊71、住家半壊161、道路・橋梁・堤防にも損壊があった。
1950.8.22 昭和25年	35°10.1'	132°38.6'	5.2	島根県西部	震央付近で崖崩れ・壁の亀裂・墓石の転倒・井水の白濁などの微小被害があった。
1964.6.16 昭和39年	38°22.2'	139°12.7'	7.5	新潟県下越沖 (新潟地震)	津波が本震の約15分後から日本海沿岸各地を襲い、島根県隠岐島でも水田が冠水した。 島根県では住家床下浸水1、住家一部破損38、水田冠水10haの被害があった。

発生年月日	北緯	東経	規模 (M)	震央地名 (地震名)	被害状況
1977.5.2 昭和52年	35°09.0'	132°42.0'	5.6	島根県東部	震央付近で壁の亀裂、剥落、崖崩れ、地割れなど軽微な被害が見られた。掛合町小原地区（現雲南市）では墓石がすべて倒れた。 住家一部破損108棟、非住家被害55棟、公共建物被害129棟、道路損壊59箇所、その他農地などにも被害。（昭和52年島根県災害年報より）
1978.6.4 昭和53年	35°05.0'	132°42.0'	6.1	島根県東部	三瓶山の南東の大田市志学、頓原町（現飯南町）、邑智町（現美郷町）に被害。壁の亀裂・剥落、墓石の転倒、石垣や道路の小被害、崖崩れがあった。 住家半壊5棟、住家一部破損55棟、非住家被害27棟、公共建物被害7棟、文教施設破損2箇所、道路損壊43箇所、水道損壊9箇所、崖くずれ3箇所等。（昭和53年島根県災害年報より）
1983.5.26 昭和58年	40°21.6'	139°04.4'	7.7	秋田県沖 (昭和58年(1983年) 日本海中部地震)	この地震による津波で隠岐地方と島根半島を中心に多数の船舶・港湾施設に被害があり、浸水家屋などもあった。負傷者5人、住家床上浸水141棟、住家床下浸水277棟、非住家浸水86棟、公共建物浸水17棟、漁船被害319隻等。（昭和58年島根県災害年報より）
1991.8.28 平成3年	35°19.4'	133°11.2'	5.9	島根県東部	被害の主なものは、天井・壁・床に亀裂、石垣にヒビ、ガラス割れ、酒瓶等落下、屋根瓦のずれ・落下、道路に亀裂・落石、JR山陰・山陽両線等で運休、大幅な遅れ等があった。 住家一部破損22棟、非住家被害1棟、公共建物被害6棟等。（平成3年島根県災害年報より）
1993.7.12 平成5年	42°46.9'	139°10.8'	7.8	北海道南西沖 (平成5年(1993年) 北海道南西沖地震)	津波により隠岐地方、島根半島の沿岸、港湾、漁船などを中心に被害が発生した。住家床上浸水5棟、住家床下浸水78棟、漁船被害93隻、漁具被害19件等。（平成5年島根県災害年報より）
1997.6.25 平成9年	34°26.4'	131°39.9'	6.6	山口県中部	住家一部損壊3棟、非住家一部損壊4棟、公共建物被害7棟等。（平成9年島根県災害年報より）

発生年月日	北緯	東経	規模 (M)	震央地名 (地震名)	被害状況
2000.10.6 平成 12 年	35 ° 16.4'	133 ° 20.9'	7.3	鳥取県西部 (平成 12 年(2000 年) 鳥取県西部地震)	伯太町(現安来市)・八束町(現松江市)・安来市等で大きな被害が発生し、農作物にも安来市・東出雲町(現松江市)・伯太町で大きな被害が出た。 重傷 2 名、軽傷 9 名、住家全壊 34 棟、住家半壊 576 棟、住家一部損壊 3,456 棟、道路被害 43 箇所、橋梁被害 2 箇所等。(平成 12 年鳥根県災害年報より)
2001.3.24 平成 13 年	34 ° 07.9'	132 ° 41.6'	6.7	安芸灘 (平成 13 年(2001 年) 芸予地震)	軽傷者 3 名の他、住宅、道路、農業施設等に大きな被害が発生した。 住家一部損壊 10 棟、公共建物被害 1 棟、道路被害 2 箇所等。(平成 13 年鳥根県災害年報より)

参考：

地震調査研究推進本部：日本の地震活動

宇佐美龍夫・石井 寿・今村隆正・武村雅之・松浦律子：日本被害地震総覧 599-2012